

夏を彩る作品制作

折り紙教室

「夏の紙飾り」をテーマにした折り紙教室が社会福祉センターで開かれました。

参加した4人は、ペンギンやスイカ、カニなど、涼しげな夏を感じさせる作品を次々と完成させていました。瀬戸ルミ子さんは「折り紙は気分転換になって楽しい。いつも参加しています」と、講師の手ほどきを受けながら笑顔で楽しんでいました。



真剣な表情で作品を作る参加者たち

《2026年》
7/25

先人に感謝と祈りを捧ぐ

漁業功労者顕彰式

白糠漁業協同組合（山田明組合長）主催の漁業功労者顕彰式が、岬の森東山公園内の漁業功労者顕彰碑前で行われました。

長年にわたり漁業の発展に力を尽くした先人の功績をたたえるため、昨年建立された顕彰碑に初めて合祀者名簿が奉納され、合祀者の遺族や来賓など、参列した約20人が献花を行いました。



献花し、静かに祈りを捧げる山田組合長

《2026年》
7/20

移転から1年3か月

恋問館来館者数 100万人突破

昨年4月に移転オープンした「道の駅しらぬか恋問館」の来館者数が節目の100万人に到達し、記念のセレモニーが行われました。

セレモニーでは、100万人目の来場者となった札幌市在住の榎原忠光さんと進藤陽子さんのきょうだいに記念品が贈呈されたほか、くす玉を割って節目を祝いました。



くす玉割りに参加した進藤さんと榎原さん（左から）

《2026年》
7/20

掘削技術の魅力を実感

ジオパワー学園 学校説明会

学校法人ジオパワー学園掘削技術専門学校（井上政史校長）は、高校生向けのオープンキャンパス特別版を開きました。通常の学校説明と施設見学に加え、在校生参加の企業説明会を見学できる新たな試みです。

参加した白糠高校3年の小松奏音さんは「大型の掘削機械を見学し、仕事のスケールの大きさに驚いた。進学への思いがさらに強くなった」と話しました。



企業説明会で話を聞く小松さん（左）

《2026年》
7/16

心に響く言葉の力

社会を明るくする運動 入選標語表彰式

今年度の社会を明るくする運動の入選標語9作品が決まり、代表標語には庶路学園6年の秋山慶依さんが考えた「はげましで だれかのところ 救っている」が選ばれました。

表彰式は庶路学園で行われ、秋山さんのほか、入選した同学園9年の久保田丞さんに川島眞澄教育長から賞状と記念品が贈呈されました。



右から川島教育長、秋山さん、久保田さん、庶路学園の森下校長

《2026年》
7/23

代表標語

「はげましで だれかのところ 救っている」

庶路学園 6年 秋山慶依さん

入選標語

「つなげよう やさしい心で 未来へと」

茶路小中学校 5年 對木彩太さん

「誘惑に 負けない強さが 身を守る」

庶路学園 9年 久保田丞さん

「悪口は 心が傷つく いじめだよ」

白糠学園 6年 平川咲桜さん

「ありがとう その言葉から 繋がる未来」

茶路小中学校 3年 栗山泰地さん

「考えて 言い方次第で 傷つける」

白糠高校 2年 川上梨彩菜さん

「一人じゃない 皆手を取り 助け合おう」

白糠学園 9年 田中杏奈さん

「助けてと 言える勇氣 大事だよ」

庶路学園 6年 上田真叶さん

「いつかでは 絶対後悔 だから今」

白糠高校 3年 佐久間涼太さん

健康への意識を深める

第21回 しらぬか健康まつり

健康への意識を高めてもらう「第21回しらぬか健康まつり」が、社会福祉センターで開かれました。来場者はさまざまな測定・体験コーナーや講演会を通じて、日頃の健康について考えるきっかけとしていました。

会場には、血圧や脳年齢、骨密度、血管年齢を測定できる「健康チェックコーナー」のほか、脳トレ体験ができる「介護予防コーナー」、食生活改善協議会が豆乳スープを提供する「食生活改善コーナー」など、多彩なブースが設けられ、多くの人でにぎわいました。

講演会では、発酵学の第一人者である東京農業大学の小泉武夫名誉教授が「発酵と健康」をテーマに登壇しました。小泉氏は「発酵食品は添加物が一切ない究極の自然食品」とし、食べることで免疫力が高まるほか、体にたまった老廃物の排出を促してくれるなど、健康につながるさまざまな効果があると解説しました。

また、小泉氏から町に自身が推薦する絵本「菌たろう」の寄贈がありました。絵本は町内の認定こども園や保育園、公民館図書室で活用されます。

《2026年》
7/18



講演する小泉氏



棚野町長（右）に絵本を寄贈する小泉氏



血圧測定などを通じて自身の健康状態を確かめる来場者